

ブラジル人の友だち

西保見小四年

柴田 理姫

わたしは、保見団地に住んでいる。小学校にも近所にも、ブラジルの子がたくさんいたので、わたしにはブラジルの友だちがたくさんいる。

今のクラスにも、ブラジル人の友だちがいっぱいいる。ジュリアナちゃんは、わたしの一番のともだちだ。ジュリアナちゃんは、わたしがい

いしょに遊ぼう。

と言うと、すぐに遊んでくれる。ヒロシ君は、はすかしがり屋だけど、分からないことをやさしく教えてくれる。ルアナちゃんは、わたしに何かを教えてあげると、やさしい言葉でおれを言うてくれる。ルアナちゃんにおれを言われると、いつもうれしい気持ちになる。クラスにブラジルの友だちがたくさんいて、困ったこともある。

理科の授業で、実験をした時のことだ。わ

にしのグループには、ブラジルの子しかいなかった。日本語がぜんぜん分からないリヨイチ君も同じグループにいた。

グループの子達は、リヨイチ君に、ポルトガル語で実験の仕方を説明した。わたしは、実験をやりにかかったけれども、みんながポルトガル語で話しているのでも、何をどうすればいいのか分からなくなってしまうた。もしかして、みんなわたしの悪口を言っているのかしら。

そう思うと、ポルトガル語を聞くのがこわくなつた。

わたしの他にも、ポルトガル語に困っている子がいたので、クラスで学級会が開かれた。みんなで、いい意見を出し合った。意見を言ひすきたので、もう少しで日本の子とブラジルの子でケンカになるところだった。

その時、わたしの友だちのジュリアナちゃんか、みんなにこんなことを言った。

日本人の子達が、小さな声でこしょこしょ

話をしていたり、早口で話したりすると、みんなが何を言っているのか分からなくなってしまう。だから、私はポルトガル語で話してしまうんです。

わたしは、ジュリアアサちゃんの見解を聞いて、はっとした。わたしにも、ブラジルの子どもたちを不安にさせていたんだ、と思った。ブラジルの子どもたちがあんなに困っていることも、初めて知った。わたしたち日本人はたくさん意見を言ったけど、本当はおたがいさまなんだ、と思った。

ブラジルの子どもと友達になって困ったこともあったけど、その子どもたちにブラジルのことを教えてもらったりもする。そんな時、やっぱり友達でいいなと思う。これから、ブラジルの子どもだけでなく、他の国の友達もいっぱい作りたい。そして、タラスの友達たちとも仲よくなりたい。